



誤飲・窒息



お子さんが急にせき込んで苦しそうな表情の時は、異物の誤飲・窒息が疑われます



次の場合は、救急車を呼びましょう

- のどに物が詰まった
- けいれんを起こしている
- 意識がない
- 顔色が悪く、呼吸の仕方がおかしい
- 嘔吐が止まらない



救急医療機関に受診が必要な症状

次の場合は、医療機関を受診しましょう

- 医薬品、殺虫剤、洗剤などを飲んだ
- 灯油、マニキュア除光液など揮発性の液体を飲んだと思われる





ポイント

誤飲・窒息の場合の対応

* 落ち着いて、何を飲み込んだのか周囲にあるものから推測してください

* 異物を飲み込んだ可能性がある場合は口の中を見て、取り除けたら取ってください

▶▶▶ 吐かせるために

- ・指をのどの奥に入れて舌を押し下げる
- ・頭を下にし、背中をたたく
- ・後ろからお子さんのお腹の前で腕を組み、お子さんのお腹を上後ろ方向に強く引き上げる
- ・ひざを立てて、お子さんのお腹を乗せ、背中を強くたたきます

※お子さんの口は開けておきます

ハイムリック法

お子さんのみぞおちに
手が当たるように…

①



そのまま上(後方)に引っ張り上げます

②



* 詰まった直後は何の症状がなくても、時間とともに誤飲した物が水を吸って、膨らみ窒息する場合がありますので、お子さんの状態を良くみてください

《飲みこんだ危険物による対応》

すぐに吐かせる	吐かせずに受診		しばらく様子を見る
ワックス	灯油	安全ピン	マッチ
台所用洗剤	シンナー	ガラス片	芳香剤
アルコール	マニキュア除光液	殺虫剤	乾燥剤
整髪料	トイレ用洗剤	除草剤	クレヨン
化粧品	カビ取り剤	生石灰	口紅
医薬品	漂白剤	ナフタリン	粘土
たばこ	油性塗料	しょうのう	マーカーペン
石けん	画びょう・針		蚊取り線香



チェック

たばこを飲み込んだ場合

* 2 cm以上食べた場合は、できるだけ早く受診してください

▶▶特に、たばこの灰皿の汁や、たばこを捨てたジュース缶などの残りを飲んだ場合は、できるだけ早く医療機関を受診してください

※普通は苦いので2 cmも食べられません、その場に残っているものを確認してください



ポイント

日常生活で注意すること

- * ボールペンや鉛筆、はしなどを口にくわえたまま、遊ばせないようにしてください
- * 白歯（きゅうし）が生える3歳位までは、豆類などの噛み砕く食品は食べさせないでください
- * お子さんの手の届く位置に口に入りそうな物は置かないようにしてください



チェック

中毒110番

- * 化学物質（タバコ、家庭用品など）、医薬品、動植物による毒などによって起こる急性中毒について、実際に事故が発生している場合に限定して情報提供している所です。誤飲が実際に起こってしまった時に電話して下さい

・つくば中毒110番（365日9時～21時対応）

029-852-9999（無料で情報提供）

・大阪中毒110番（365日24時間対応）

072-727-2499（無料で情報提供）

・タバコ専用電話（365日24時間テープによる情報提供）

072-726-9922（無料で情報提供）



やけどをしたとき



次の場合は、救急車を呼びましょう

- やけどの範囲が大人の手のひらより大きいとき
- 皮が黒く焦げていたり、白くなっている

やけど



ポイント

やけどをした場合の対応

- * やけどをしたら、水道水又は氷水などで、患部を10分以上（可能なら30分）冷やしてください
 - ▶▶服の上からでも良いです
- * 水ぶくれはつぶさないように、水の勢いを弱めて冷やします
- * つぶれると、そこから雑菌が入って化膿する恐れがあります
 - ※つぶれたら消毒して清潔にしておきましょう





頭を打ったとき



次の場合は、救急車を呼びましょう

- 意識がない（すぐに泣かないなど）
- けいれんが起きた
- うとうとしたり、意識がおかしい



救急医療機関に受診が必要な症状

次の場合は、医療機関を受診しましょう

- 吐き気がある
- 痛みが強い



ポイント

頭を打った場合の対応

* 頭部を打った後、すぐに泣いて意識がしっかりしており、食欲がある場合は様子を見てください

▶▶▶ 患部を冷やしてください

▶▶▶ 当日は、安静にして入浴も控えてください



様子を
見ましょう

2～3日は注意深く観察し、吐き気があったり、いつもと様子が違う場合は、脳外科医のいる医療機関を受診してください

●
●
●
●
頭を打った





手足などの打撲



救急医療機関に受診が必要な症状

次の場合は、患部を固定して
整形外科・外科を受診してください

- 激しく痛がる場合や患部が変形している
- 痛めた部分に大きな傷がある
- 患部を動かさない



様子を
見ましょう

打ち身（皮下出血）があるが、患部を動かせる場合は、冷やして様子を見てください